

【プロジェクトチームによる試行結果】

この評価シートは、プログラム評価と個別事務事業評価をより具体的に検討するために、以下の方法で作成したものです。

・プログラム評価

プロジェクトチームが、計画シート及び評価シートの作成及び一次評価を行い、公会計制度研究専門委員が二次評価を行いました。したがって、掲げている目標値は、プロジェクトチームが独自に設定したものです。また、見直し方針は、二次評価をもとにプロジェクトチームが作成しました。

評価の対象としては、第三期長期計画二次調整計画に掲げている41の基本施策のうち、「ハイモビリティ施策の推進」を取り上げました。

評価時期は、平成13年度実績がまだ明らかでないため、計画シートが平成12年度当初、評価シートが平成12年度終了時点としました。

・個別事務事業評価

プロジェクトチームが、シートの作成及び一次評価を行い、公会計制度研究専門委員が二次評価を行いました。したがって、掲げている目標値は、プロジェクトチームが独自に設定したものです。また、見直し方針は、二次評価をもとにプロジェクトチームが作成しました。

評価の対象として、「ムーバスの運行」を取り上げました。

評価時期は、平成12年度終了時点としました。

目次

・プログラム評価の試行結果

ハイモビリティ施策の推進（計画シート）	1 ~ 6
ハイモビリティ施策の推進（評価シート）	7 ~ 14

・個別事務事業評価の試行結果

ムーバス運行事業	15 ~ 16
----------------	---------

目的		現状と課題																																				
あるべき姿		市民の意識		行政活動																																		
市民誰もが安全で快適に移動できる環境をつくります	<p>市民や市を訪れる人々が、鉄道やバスなどの公共交通を利用しやすい環境にします。</p>	<p>交通に関する市民要望の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>交通システムや道路環境の整備</th> <th>自転車対策の推進</th> <th>駅周辺の整備・再開発</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9年度</td> <td>18.7%</td> <td>17.5%</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>10年度</td> <td>16.6%</td> <td>15.2%</td> <td>18.9%</td> </tr> <tr> <td>11年度</td> <td>19.6%</td> <td>16.4%</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">11年度内訳</td> <td>東部</td> <td>18.6%</td> <td>23.6%</td> <td>14.8%</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>20.2%</td> <td>14.5%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>北部</td> <td>22.3%</td> <td>10.3%</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>19.2%</td> <td>12.0%</td> <td>37.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">市政アンケート調査</p> <p>交通に関する市民の要望は高く、毎年 10 位以内にランクされています。平成 11 年度は、東部地区で自転車対策、西部地区を中心に駅周辺の整備・再開発を求める率が高くなっています。また、個別意見としては、駅へのエスカレーターの設置、駐輪場の設置、ムーバスの運行路線、時間拡大を求める声が多くなっています。</p>			項目	交通システムや道路環境の整備	自転車対策の推進	駅周辺の整備・再開発	9年度	18.7%	17.5%	18.8%	10年度	16.6%	15.2%	18.9%	11年度	19.6%	16.4%	19.8%	11年度内訳	東部	18.6%	23.6%	14.8%	中部	20.2%	14.5%	14.4%	北部	22.3%	10.3%	14.2%	西部	19.2%	12.0%	37.3%	<p>吉祥寺駅周辺の車の乗入れ抑制のため、ムーバスを利用したパーク&バスライド事業を平成 11 年度に開始し、利用台数は約 5,000 台に上りました。</p> <p>パーク&ライド事業が、駅周辺の交通渋滞緩和にどの程度貢献しているのかや、バスの定時運行の実態を調査し、有効な対策を検討する必要があります。</p>
	項目	交通システムや道路環境の整備	自転車対策の推進	駅周辺の整備・再開発																																		
	9年度	18.7%	17.5%	18.8%																																		
	10年度	16.6%	15.2%	18.9%																																		
11年度	19.6%	16.4%	19.8%																																			
11年度内訳	東部	18.6%	23.6%	14.8%																																		
	中部	20.2%	14.5%	14.4%																																		
	北部	22.3%	10.3%	14.2%																																		
	西部	19.2%	12.0%	37.3%																																		
<p>公共交通が不便な地域に住む高齢者などの市民が、快適にかつ安心して外出できるようにします。</p>	<p>「交通問題についてあなたの考えに近いものを 3 つ以内でお答えください。」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の足である自転車も通りやすい道路、駐輪場の整備をすすめる</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>吉祥寺東町南町を中心にはじまったムーバスは好評で他の地域に広げていく</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>ムーバスの地域を広げることによって駅周辺への車の乗り入れを抑制する</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>エネルギー消費や排ガスの点から自動車にあまりたよらない生活を考える</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>主要な道路の整備</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成 11 年度市民意識調査</p> <p>市民の足である自転車が見直されて、7 割もの回答が集中しています。この他、ムーバスの関心も高いものになっています。また、車に頼らない生活についても 3 割の賛同があり、市内交通に関する限り、意識として車離れが進んできています。</p>			項目	割合	市民の足である自転車も通りやすい道路、駐輪場の整備をすすめる	70%	吉祥寺東町南町を中心にはじまったムーバスは好評で他の地域に広げていく	43%	ムーバスの地域を広げることによって駅周辺への車の乗り入れを抑制する	36%	エネルギー消費や排ガスの点から自動車にあまりたよらない生活を考える	28%	主要な道路の整備	25%	<p>ムーバスは、現在 2 号路線まで開通し、平成 11 年度の年間利用者数も、100 万人に達するなど、市民の足として定着しつつあります。</p> <p>1 号路線及び 2 号路線の開設で、交通空白地域は大幅に解消されましたが、残る西部地区について早急な対策が必要です。</p>																						
項目	割合																																					
市民の足である自転車も通りやすい道路、駐輪場の整備をすすめる	70%																																					
吉祥寺東町南町を中心にはじまったムーバスは好評で他の地域に広げていく	43%																																					
ムーバスの地域を広げることによって駅周辺への車の乗り入れを抑制する	36%																																					
エネルギー消費や排ガスの点から自動車にあまりたよらない生活を考える	28%																																					
主要な道路の整備	25%																																					
<p>駅周辺の放置自転車を減らすことにより、自転車利用者の利便性を高めると同時に、駅周辺を訪れる人々が、快適に歩行できるようにします。</p>	<p>市内各駅周辺の自転車駐車スペースは、平成 11 年度末で、吉祥寺駅に 8,600 台、三鷹駅北口に 5,000 台、武蔵境駅に 8,500 台確保しています。</p> <p>停留台数より収容可能台数が上まわっているにもかかわらず、放置自転車が 3 駅合計で 1,600 台程度あります。</p>																																					
<p>市民が、駅周辺や商店街をはじめ、市内を安心して安全に歩行できる環境を整備します。</p>	<p>都・国・鉄道事業者との協力により、吉祥寺駅と三鷹駅ではエスカレーターを設置しています。また歩行空間確保のため、ベンチ設置や道路の段差解消を計画的に実施しています。</p> <p>車椅子の人が、一人で駅前からホームまで行くことができる環境を 3 駅すべて整え、高齢者や障害者でも快適に移動できる経路が必要です。</p>																																					

平成 12 年度計画シート（基本施策）

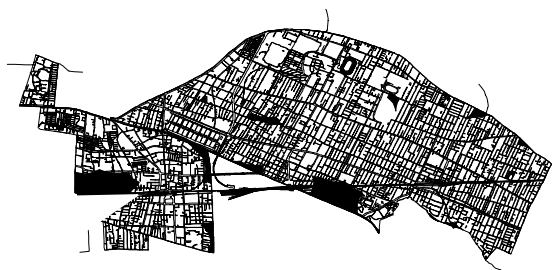
目 標 基本施策 - 施策 - 事業		達成状況を表わす代表的な指標とその目標値																											
ハイモビリティ 施策の 推進	(1)公共交通 への転換	<p>バスレーン・リバーシブルレーンの設置 乗り換え動線の円滑化 パーク＆ライド等の方策の継続的検討 ムーバス運行事業</p> <p>平成 16 年度までに、徒歩及び公共交通を利用して吉祥寺へ来る人の割合を 80% にします。</p> <p style="text-align: center;">吉祥寺への来街交通手段 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>徒歩</th> <th>公共交通</th> <th>自転車 バイク</th> <th>その他</th> <th>乗用車 以外計</th> <th>乗用 車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 年度</td> <td>17.1</td> <td>60.7</td> <td>13.1</td> <td>0.1</td> <td>91.0</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">吉祥寺商店街来街者調査</p>	年度	徒歩	公共交通	自転車 バイク	その他	乗用車 以外計	乗用 車	5 年度	17.1	60.7	13.1	0.1	91.0	9.0													
	年度	徒歩	公共交通	自転車 バイク	その他	乗用車 以外計	乗用 車																						
	5 年度	17.1	60.7	13.1	0.1	91.0	9.0																						
	(2)ムーバス の展開	<p>市内全域におけるネットワーク化の推進 運行時間延長の検討</p> <p>平成 16 年度までに、市内の交通空白地域（バス停から 300m 以上の地域）を解消します。</p> <p style="text-align: center;">交通空白地域（平成 11 年度末）</p>  <p style="text-align: right;">: 交通空白地域</p> <p style="text-align: right;">平成 11 年度地域生活環境指標を修正</p>																											
(3)自転車対 策の推進	<p>吉祥寺駅周辺 - 駐輪場の確保と利用形態の工夫 三鷹駅周辺 - 駐輪場の確保と利用形態の工夫 武蔵境駅周辺 - JR 中央線高架下空間の利用等による駐輪場の確保の検討 快適な利用環境の検討</p> <p>平成 16 年度までに、3 駅周辺の放置自転車台数を 1,000 台にします。</p> <p style="text-align: center;">吉祥寺・三鷹・武蔵境駅の放置自転車等の台数 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9 年度</th> <th>10 年度</th> <th>11 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>19,933</td> <td>19,938</td> <td>21,280</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>19,538</td> <td>18,870</td> <td>18,586</td> </tr> <tr> <td>放置自転車台数</td> <td>1,366</td> <td>1,602</td> <td>1,435</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">交通対策課資料</p>	区分	9 年度	10 年度	11 年度	収容可能台数	19,933	19,938	21,280	停留台数	19,538	18,870	18,586	放置自転車台数	1,366	1,602	1,435												
区分	9 年度	10 年度	11 年度																										
収容可能台数	19,933	19,938	21,280																										
停留台数	19,538	18,870	18,586																										
放置自転車台数	1,366	1,602	1,435																										
(4)モビリティ の向上	<p>円滑な交通体系の整備 エレベーター・エスカレーターの駅への設置 重点整備地区の指定と地区内整備 道路の段差解消</p> <p>平成 16 年度までに、交通の安全性を「よい」「まあよい」と感じる人の割合を 80% にします。</p> <p style="text-align: center;">交通の安全に関する市民意識</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>よい</th> <th>まあ よい</th> <th>左の小計</th> <th>あまり よくない</th> <th>わるい</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 4 年度</td> <td>25%</td> <td>45%</td> <td>70%</td> <td>26%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>平成 7 年度</td> <td>26%</td> <td>52%</td> <td>78%</td> <td>20%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>平成 11 年度</td> <td>27%</td> <td>49%</td> <td>76%</td> <td>20%</td> <td>3%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">武蔵野市市民意識調査</p>	年度	よい	まあ よい	左の小計	あまり よくない	わるい	無回答	平成 4 年度	25%	45%	70%	26%	5%	0%	平成 7 年度	26%	52%	78%	20%	2%	0%	平成 11 年度	27%	49%	76%	20%	3%	1%
年度	よい	まあ よい	左の小計	あまり よくない	わるい	無回答																							
平成 4 年度	25%	45%	70%	26%	5%	0%																							
平成 7 年度	26%	52%	78%	20%	2%	0%																							
平成 11 年度	27%	49%	76%	20%	3%	1%																							

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその目標値																
<p>パーク＆ライド等の方策の継続的検討</p> <p style="text-align: right;">二調事業</p>	<p>平成 12 年度は、平日の利用者数を増やし、年間 9,000 台の利用者を獲得します。</p> <p style="text-align: center;">ムーパーク年間利用台数 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9 年度</th> <th>10 年度</th> <th>11 年度</th> <th>12 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4,847</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">交通対策課資料</p> <p>現状及び課題</p> <p>吉祥寺地区についてはムーパークを荷捌き場として活用していくことや、三鷹・境地区へのムーパークの設置を検討します。利用者は増えつつあり、広報の成果が現れ始めています。今後は、採算性を高め、自立した運営を目指していくことが必要です。</p>	区分	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度	目標値	-	-	-	9,000	実績	-	-	4,847		
区分	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度													
目標値	-	-	-	9,000													
実績	-	-	4,847														
<p>ムーバス運行事業</p>	<p>平成 1 2 年度は、新規の境南路線で運行開始後にアンケート調査を実施し、沿線地域住民の中で運行前よりも外出回数が増えた人の割合を 4 0 % 以上にします。</p> <p style="text-align: center;">ムーバス運行による外出回数の変化 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>東循環</th> <th>北西循環</th> <th>境南循環目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行前より増えた</td> <td>42.3</td> <td>52.1</td> <td>40 以上</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>56.1</td> <td>47.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.6</td> <td>0.6</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">交通対策課資料</p> <p>現状及び課題</p> <p>境南地域は日赤病院があることもあり、地域住民以外の人にとってもムーバスに対するニーズが高いといえます。</p>	区 分	東循環	北西循環	境南循環目標値	運行前より増えた	42.3	52.1	40 以上	変わらない	56.1	47.3	-	無回答	1.6	0.6	-
区 分	東循環	北西循環	境南循環目標値														
運行前より増えた	42.3	52.1	40 以上														
変わらない	56.1	47.3	-														
無回答	1.6	0.6	-														

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその目標値																																							
ムーバスの路線のネットワーク化 <div style="text-align: right;">二調事業</div>	<p>平成12年度は、利用者数をそれぞれ、43万人、65万人、10万人にします。</p> <p style="text-align: center;">路線別ムーバス年間利用者数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="523 398 1359 674"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">吉祥寺東循環</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>430,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>401,306</td> <td>433,547</td> <td>428,419</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吉祥寺北西循環</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>650,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>26,737</td> <td>470,332</td> <td>608,932</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">境南循環</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">交通対策課資料</p> <p>注：吉祥寺北西循環の運行開始日は平成10年3月8日です。</p> <p>現状及び課題 1号路線、2号路線とも順調に利用者数を伸ばし、地域に定着しています。</p>	路線	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	吉祥寺東循環	目標値	-	-	-	430,000	実績	401,306	433,547	428,419		吉祥寺北西循環	目標値	-	-	-	650,000	実績	26,737	470,332	608,932		境南循環	目標値	-	-	-	100,000	実績	-	-	-	
路線	区分	9年度	10年度	11年度	12年度																																			
吉祥寺東循環	目標値	-	-	-	430,000																																			
	実績	401,306	433,547	428,419																																				
吉祥寺北西循環	目標値	-	-	-	650,000																																			
	実績	26,737	470,332	608,932																																				
境南循環	目標値	-	-	-	100,000																																			
	実績	-	-	-																																				
既存路線の運行時間延長の検討 <div style="text-align: right;">二調事業</div>	<p>平成12年度は、新規の境南路線(7時~21時)の運行開始後利用者にアンケートを実施し、比較検討を行います。</p> <p style="text-align: center;">運行時間帯についての評価 《現在の始発より早い時間、終発より遅い時間の便を求める人の割合》</p> <table border="1" data-bbox="831 1088 1206 1171"> <thead> <tr> <th>東循環</th> <th>北西循環</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67.3%</td> <td>65.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(ムーバスフォローアップ調査 東循環：平成8年2月 北西循環：平成10年9月)</p> <p>現状及び課題 東循環(8時~18時00分)、北西循環(8時03分~19時38分)利用者について行ったアンケート結果によると、約3人に2人が、運行時間に対して何らかの意見を持っています。アンケート結果を受け、東循環は平成10年3月8日より、終バスを1時間延長しました。今後とも利用者のニーズに基づいた運行について検討が必要です。</p>	東循環	北西循環	67.3%	65.8%																																			
東循環	北西循環																																							
67.3%	65.8%																																							

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその目標値																														
自転車対策事業 <吉祥寺駅> 二調事業	<p>平成12年度は、吉祥寺駅周辺の放置自転車台数を900台にします。</p> <p>吉祥寺駅周辺の放置自転車等の台数 (台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>8,017</td> <td>8,017</td> <td>7,767</td> <td>8,684</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>7,578</td> <td>6,983</td> <td>6,248</td> <td>7,899</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放置自転車台数</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>967</td> <td>832</td> <td>917</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状及び課題 停留台数を満たす収容可能台数がありますが、放置台数は減少していません。</p> <p>交通対策課資料</p>	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	8,017	8,017	7,767	8,684	停留台数	7,578	6,983	6,248	7,899	放置自転車台数	目標値	-	-	900	実績	967	832	917						
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																											
収容可能台数	8,017	8,017	7,767	8,684																											
停留台数	7,578	6,983	6,248	7,899																											
放置自転車台数	目標値	-	-	900																											
	実績	967	832	917																											
自転車対策事業 <三鷹駅> 二調事業	<p>平成12年度は、三鷹駅北口周辺の放置自転車台数を200台にします。</p> <p>三鷹駅周辺の放置自転車等の台数 (台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>4,879</td> <td>4,989</td> <td>4,989</td> <td>5,036</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>5,030</td> <td>5,073</td> <td>5,239</td> <td>5,586</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放置自転車台数</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>127</td> <td>221</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状及び課題 収容可能台数は、停留台数より少ないですが、放置自転車台数は、あまりありません。</p> <p>交通対策課資料</p>	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	4,879	4,989	4,989	5,036	停留台数	5,030	5,073	5,239	5,586	放置自転車台数	目標値	-	-	200	実績	127	221	210						
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																											
収容可能台数	4,879	4,989	4,989	5,036																											
停留台数	5,030	5,073	5,239	5,586																											
放置自転車台数	目標値	-	-	200																											
	実績	127	221	210																											
自転車対策事業 <武蔵境駅> 二調事業	<p>平成12年度は、武蔵境駅周辺の放置自転車台数を300台にします。</p> <p>武蔵境駅周辺の放置自転車等の台数 (台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>7,037</td> <td>6,932</td> <td>8,524</td> <td>8,524</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>6,930</td> <td>6,814</td> <td>7,099</td> <td>7,309</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放置自転車台数</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>272</td> <td>549</td> <td>308</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状及び課題 収容可能台数は、停留台数を上回っており、放置自転車数もあまりありません。</p> <p>交通対策課資料</p>	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	7,037	6,932	8,524	8,524	停留台数	6,930	6,814	7,099	7,309	放置自転車台数	目標値	-	-	300	実績	272	549	308						
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																											
収容可能台数	7,037	6,932	8,524	8,524																											
停留台数	6,930	6,814	7,099	7,309																											
放置自転車台数	目標値	-	-	300																											
	実績	272	549	308																											
快適な利用環境の検討 二調事業	<p>平成12年度は、前年度を5%下回る発生件数を目標値にします。</p> <p>市内自転車の事故の推移 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発生件数</td> <td>180</td> <td>166</td> <td>268</td> <td>254</td> </tr> <tr> <td>死亡</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>重傷</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>軽傷</td> <td>168</td> <td>160</td> <td>267</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>死傷者</td> <td>181</td> <td>167</td> <td>271</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状及び課題 平成11年度より軽傷事故が大幅に増加しています。</p> <p>武蔵野警察署資料</p>	区分	9年度	10年度	11年度	12年度 目標値	発生件数	180	166	268	254	死亡	1	1	2	-	重傷	12	6	2	-	軽傷	168	160	267	-	死傷者	181	167	271	-
区分	9年度	10年度	11年度	12年度 目標値																											
発生件数	180	166	268	254																											
死亡	1	1	2	-																											
重傷	12	6	2	-																											
軽傷	168	160	267	-																											
死傷者	181	167	271	-																											

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその目標値																					
<p>エレベーター・エスカレーターの駅への設置</p> <p>二調事業</p>	<p>平成12年度は、吉祥寺駅南口京王線出口にエスカレーターを2基設置します。</p> <p>現状及び課題 市内には吉祥寺・三鷹・武蔵境の3駅がありますが、そのうち武蔵境駅にはエスカレーターがありません。またエレベーターについては、3駅とも設置されていません。エスカレーターおよびエレベーターの早急な設置が必要となります。 また、武蔵野市では、移動手段として電車を利用する人が多いため、駅前には多くの人が集まります。そのことから交通バリアフリー法に拠って駅前周辺を重点整備地区に指定し整備を行ないます。(現在は重点整備地区については未設定です)</p>																					
<p>道路の段差解消</p>	<p>平成12年度は、延べ30箇所の段差解消を行います。 今後、緊急改善地箇所総数326箇所を、平成14年度までに実施します。</p> <p style="text-align: center;">道路の段差解消 年度別実施箇所数(市内全体年間)</p> <p style="text-align: right;">(箇所)</p> <table border="1" data-bbox="424 947 1477 1093"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>130</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>80</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>134</td> <td>34</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">道路整備課資料</p> <p>現状及び課題 武蔵野市では、計画的に道路の段差解消事業を推進しています。</p>	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	目標値	130	30	30	30	80	26	実績	134	34	10			
区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度																
目標値	130	30	30	30	80	26																
実績	134	34	10																			

目標 基本施策 - 施策 - 事業		達成状況を表わす代表的な指標と実績																											
ハイモビリティ施策の推進	(1)公共交通への転換 バスレーンリバーシブルレーンの設置 乗り換え動線の円滑化 パーク&ライド等の方策の継続的検討 ムーバス運行事業	平成16年度までに、徒歩及び公共交通を利用して吉祥寺へ来る人の割合を80%にします。 吉祥寺への来街交通手段 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>徒歩</th> <th>公共交通</th> <th>自転車バイク</th> <th>その他</th> <th>乗用車以外計</th> <th>乗用車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>17.1</td> <td>60.7</td> <td>13.1</td> <td>0.1</td> <td>91.0</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> 吉祥寺商店街来街者調査	年度	徒歩	公共交通	自転車バイク	その他	乗用車以外計	乗用車	5年度	17.1	60.7	13.1	0.1	91.0	9.0													
	年度	徒歩	公共交通	自転車バイク	その他	乗用車以外計	乗用車																						
	5年度	17.1	60.7	13.1	0.1	91.0	9.0																						
	(2)ムーバスの展開 市内全域におけるネットワーク化の推進 運行時間延長の検討	平成16年度までに、市内の交通空白地域を解消します。 交通空白地域(平成12年度末)  : 交通空白地域 平成11年度地域生活環境指標を修正																											
(3)自転車対策の推進 吉祥寺駅周辺 - 駐輪場の確保と利用形態の工夫 三鷹駅周辺 - 駐輪場の確保と利用形態の工夫 武蔵境駅周辺 - JR中央線高架下空間の利用等による駐輪場の確保の検討 快適な利用環境の検討	平成16年度までに、3駅周辺の放置自転車台数を1,000台にします。 吉祥寺・三鷹・武蔵境駅の放置自転車等の台数 (台) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>19,933</td> <td>19,938</td> <td>21,280</td> <td>22,244</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>19,538</td> <td>18,870</td> <td>18,586</td> <td>20,794</td> </tr> <tr> <td>放置自転車台数</td> <td>1,366</td> <td>1,602</td> <td>1,435</td> <td>1,784</td> </tr> </tbody> </table> 交通対策課資料	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	19,933	19,938	21,280	22,244	停留台数	19,538	18,870	18,586	20,794	放置自転車台数	1,366	1,602	1,435	1,784								
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																									
収容可能台数	19,933	19,938	21,280	22,244																									
停留台数	19,538	18,870	18,586	20,794																									
放置自転車台数	1,366	1,602	1,435	1,784																									
(4)モビリティの向上 円滑な交通体系の整備 エレベーター・エスカレーターの駅への設置 重点整備地区の指定と地区内整備 道路の段差解消	平成16年度までに、交通の安全性を「よい」「まあよい」と感じる人の割合を80%にします。 交通の安全に関する市民意識 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>よい</th> <th>まあよい</th> <th>左の小計</th> <th>あまりよくない</th> <th>わるい</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成4年度</td> <td>25%</td> <td>45%</td> <td>70%</td> <td>26%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>平成7年度</td> <td>26%</td> <td>52%</td> <td>78%</td> <td>20%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>平成11年度</td> <td>27%</td> <td>49%</td> <td>76%</td> <td>20%</td> <td>3%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> 武蔵野市市民意識調査	年度	よい	まあよい	左の小計	あまりよくない	わるい	無回答	平成4年度	25%	45%	70%	26%	5%	0%	平成7年度	26%	52%	78%	20%	2%	0%	平成11年度	27%	49%	76%	20%	3%	1%
年度	よい	まあよい	左の小計	あまりよくない	わるい	無回答																							
平成4年度	25%	45%	70%	26%	5%	0%																							
平成7年度	26%	52%	78%	20%	2%	0%																							
平成11年度	27%	49%	76%	20%	3%	1%																							

平成12年度評価シート（基本施策）

基本施策の評価

第1次評価	第2次評価
<p>バスの定時運行のためのリバーシブルレーンは検討中ですが、ムーバークの利用者数は順調に増加していて、目標値を4%上回りました。これはパーク&ライド方式が市民に認知されてきたことを示しています。今後、さらなる利用促進の工夫を検討します。</p> <p>一方、吉祥寺にどのような交通手段で来ているのか、データがないため、公共交通の利用実態がわかりません。今後、来街者調査を実施し、実態を把握することが必要です。</p>	<p>吉祥寺への来街手段は自家用車の割合が9%と低いです（平成5年度）が、土日は駐車場不足のため、渋滞を起こす原因になっています。トラックの交通量も多く、荷捌きのための渋滞も発生しています。渋滞の原因、駐車場の充足度などの実態調査を行い、施策の効果測定を検討する必要があります。</p> <p>バスの定時運行の確保は、重要な課題ですが、一方でバスの利用者は年々減少しています。通勤時の所要時間などの実態調査を行い、実効性ある対策を検討する必要があります。</p>
<p>3号路線の開設に伴い、西部地区のうち境南地区の交通空白地域は解消されました。その一方で、運行時間の拡大への要望が多く寄せられており、今後検討が必要です。</p>	<p>ムーバス開設時における利用者は徒歩からの変更が多かったのですが、数年数を経過した地域において利用者状況調査を行い、ムーバスの位置づけを再評価する時期にあります。</p> <p>ムーバスは行政と民間のパートナーシップにより効果的かつ効果的な事業が実施されています。今後も路線拡大や時間延長により、利用者満足の上昇に努めることが必要です。路線毎の効率性に留意すると同時に、歩行者の安全性の確保にも努めなければなりません。</p>
<p>駐輪可能台数が、前年度に比べ約1,000台増加しているにもかかわらず、放置自転車数が約300台も増加しています。これは、駅と新設の駐輪場との距離が離れていることが原因の一つと考えられます。駅から近く利用しやすい駐輪場の設置のため、立体化や高架下の利用など駐輪場形態をさらに研究することが必要です。</p>	<p>自転車対策では、駐輪可能台数を平成12年で22千台まで増設しており、隣接市と比較しても多額な投資をしてきました。しかし、自転車放置率、放置台数は、隣接市よりまだ高い状況です。</p> <p>駐輪の秩序化と安全性の確保のために、放置自転車の原因調査を行い、効果的な放置自転車対策を行うことが求められます。自転車が安全に通行できる道路の状況と同時に、歩行者の安全性についても実態調査を行い、危険な地域がないかどうか検討する必要があります。</p>
<p>吉祥寺南口のエスカレーターの設置により、改札まではエスカレーターでいけるようになりました。高齢者等の交通弱者が自由に移動し社会参加するためには、公共交通機関のバリアフリー化が重要です。また、交通バリアフリー法の施行により国や鉄道事業者などの各機関の取り組みが積極的になっています。このような状況の下、駅施設についてエレベーターや下りエスカレーターがない箇所に設置することをさらに推進していく必要があります。</p>	<p>市では重点整備地域の指定を検討しているところで、駅や施設という点だけではなく、歩行できる面（地域）として、バリアフリーを検討していくことは望ましいことです。</p> <p>駅や公共施設におけるエスカレーター・エレベーターの設置が必要な箇所と設置目標値や、解消すべき道路の段差についてできる限り明示し、対策の期限を設定する必要があります。</p>

総合評価

第 1 次評価	第 2 次評価
<p>ハイモビリティ施策を構成する施策のうち、公共交通への転換、ムーバスの展開については、比較的順調に事業が進捗し、その効果もあがっています。</p> <p>一方、放置自転車数の増加や、自転車事故の増加、駅周辺のバリアフリー化などの解決すべき課題の残る部分については、市以外の機関との協力や、啓発活動がより必要とされています。</p> <p>また、目的に対して事業が効果をあげているかどうかを検証するため、今後継続的に数値データを取り、より実効性の高い施策を検討していく必要があります。</p>	<p>ムーバスのように事業のアウトプットを示す指標が整備されている場合には、フルコストをベースに効率性を測定するが出来るので、それをもとに生産性の向上（サービスの質の向上とコストの低減）を検討していくことが必要です。</p> <p>ハイモビリティ施策全体の効果として、どう市民の生活が改善されたか（どう住みやすくなったか）を測定するためには、アウトカムを表すような指標が必要ですがまだ十分とはいえません。長期計画の指標化には、市民が望んでいる街の姿を実態調査すると同時に、市役所内部においては施策の顧客は誰か、顧客の求める価値は何かを戦略的に検討する必要があります。</p>

見直し方針

<ul style="list-style-type: none"> ・ムーバスの路線拡大や時間延長を平成 13 年度に研究し、方向性が出たものから順次実施します。また、安全性について再度点検を行います。 ・放置自転車について、駅別の実態調査を定期的に行い、今後の駐輪場の建設、放置自転車の規制に役立てます。 ・自転車で安全に通行できる道路の整備の方法を、平成 14 年度から研究します。 ・交通バリアフリー法の施行といった状況のもと、駅構内でエレベーターやエスカレーターがない箇所を点検し、早急に設置できるよう検討します。
--

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその実績																
<p data-bbox="188 293 497 365">パーク & ライド等の方策の継続的検討</p> <p data-bbox="381 801 497 837">二調事業</p>	<p data-bbox="528 304 1442 371">平成 1 2 年は、平日の利用者数を増やし、年間 9,000 台の利用者を獲得します。</p> <p data-bbox="746 412 1198 443">ムーパーク年間利用台数 (台)</p> <table border="1" data-bbox="582 445 1208 665"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9 年度</th> <th>10 年度</th> <th>11 年度</th> <th>12 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4,847</td> <td>9,040</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1043 667 1212 694">交通対策課資料</p> <p data-bbox="523 698 639 730">達成状況</p> <p data-bbox="523 736 1442 842">目標値を上回る利用者があり、地域に定着しつつあります。今後は、採算性を高め、自立した運営を行う検討をします。荷捌き場や三鷹・境地区へのムーパークの設置についても引き続き検討します。</p>	区分	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度	目標値	-	-	-	9,000	実績	-	-	4,847	9,040	
区分	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度													
目標値	-	-	-	9,000													
実績	-	-	4,847	9,040													
<p data-bbox="188 934 413 965">ムーバス運行事業</p>	<p data-bbox="528 934 1442 1039">平成 1 2 年度は、新規の境南路線で運行開始後にアンケート調査を実施し、沿線地域住民の中で運行前よりも外出回数が増えた人の割合を 4 0 % 以上にします。</p> <p data-bbox="695 1108 1442 1140">ムーバス運行による外出回数の変化 (%)</p> <table border="1" data-bbox="526 1142 1442 1357"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>東循環</th> <th>北西循環</th> <th>境南循環</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行前より増えた</td> <td>42.3</td> <td>52.1</td> <td>40.8</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>56.1</td> <td>47.3</td> <td>55.5</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.6</td> <td>0.6</td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1227 1361 1417 1388">交通対策課資料</p> <p data-bbox="523 1395 639 1426">達成状況</p> <p data-bbox="523 1433 1442 1538">東循環・北西循環に比べると若干数値が低めですが、目標値を達成することができました。地域性に即したニーズをよく分析し、今後の事業展開を検討します。</p>	区 分	東循環	北西循環	境南循環	運行前より増えた	42.3	52.1	40.8	変わらない	56.1	47.3	55.5	無回答	1.6	0.6	3.7
区 分	東循環	北西循環	境南循環														
運行前より増えた	42.3	52.1	40.8														
変わらない	56.1	47.3	55.5														
無回答	1.6	0.6	3.7														

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその実績																																							
<p>ムーバスの路線のネットワーク化</p> <p style="text-align: right;">二調事業</p>	<p>平成12年度は、利用者数をそれぞれ、43万人、65万人、35万人にします。</p> <p style="text-align: center;">路線別ムーバス年間利用者数 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">吉祥寺東循環</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>430,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>401,306</td> <td>433,547</td> <td>428,419</td> <td>429,550</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吉祥寺北西循環</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>650,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>26,737</td> <td>470,332</td> <td>608,932</td> <td>661,610</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">境南循環</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>114,175</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">注：吉祥寺北西循環、境南循環の運行開始日はそれぞれ平成10年3月8日、平成12年11月26日です。 交通対策課資料</p> <p>達成状況</p> <p>どの路線でも目標値を上回るか、ほぼ達成する利用者がありました。最も利用者が多く、混雑が著しい吉祥寺北西循環について増便を行い、13年度は、さらなる利用者数の増加に努めます。</p>	路線	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	吉祥寺東循環	目標値	-	-	-	430,000	実績	401,306	433,547	428,419	429,550	吉祥寺北西循環	目標値	-	-	-	650,000	実績	26,737	470,332	608,932	661,610	境南循環	目標値	-	-	-	100,000	実績	-	-	-	114,175
路線	区分	9年度	10年度	11年度	12年度																																			
吉祥寺東循環	目標値	-	-	-	430,000																																			
	実績	401,306	433,547	428,419	429,550																																			
吉祥寺北西循環	目標値	-	-	-	650,000																																			
	実績	26,737	470,332	608,932	661,610																																			
境南循環	目標値	-	-	-	100,000																																			
	実績	-	-	-	114,175																																			
<p>既存路線の運行時間延長の検討</p> <p style="text-align: right;">二調事業</p>	<p>平成12年度は、新規路線(7時~21時)の運行開始後利用者にアンケートを実施し、比較検討を行います。</p> <p style="text-align: center;">運行時間帯についての評価</p> <p style="text-align: center;">《現在の始発より早い時間、終発より遅い時間の便を求める人の割合》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>東循環</th> <th>北西循環</th> <th>境南循環</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67.3%</td> <td>65.8%</td> <td>27.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: large;">〔 ムーバスフォローアップ調査 東循環：平成8年2月 北西循環：平成10年9月 境南循環：平成13年7月 〕</p> <p>達成状況</p> <p>境南路線の利用者にアンケートを行った結果、前後1時間の延長により、約半数の利用者が満足することがわかりました。今後もアンケート結果等をもとに、運行時間延長の検討を継続します。</p>	東循環	北西循環	境南循環	67.3%	65.8%	27.7%																																	
東循環	北西循環	境南循環																																						
67.3%	65.8%	27.7%																																						

(3) 自転車対策の推進

平成12年度評価シート(施策・事業)

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその実績																																							
自転車対策事業 <吉祥寺駅> 二調事業	平成12年度は、吉祥寺駅周辺の放置自転車台数を900台にします。 吉祥寺駅周辺の放置自転車等の台数 (台) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>8,017</td> <td>8,017</td> <td>7,767</td> <td>8,684</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>7,578</td> <td>6,983</td> <td>6,248</td> <td>7,899</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放置自転車台数</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>967</td> <td>832</td> <td>917</td> </tr> </tbody> </table> 達成状況 1,000台近く収容可能台数を増やしたにもかかわらず、目標値を200台ほど上回る放置自転車がありました。 交通対策課資料		区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	8,017	8,017	7,767	8,684	停留台数	7,578	6,983	6,248	7,899	放置自転車台数	目標値	-	-	900	実績	967	832	917														
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																																				
収容可能台数	8,017	8,017	7,767	8,684																																				
停留台数	7,578	6,983	6,248	7,899																																				
放置自転車台数	目標値	-	-	900																																				
	実績	967	832	917																																				
自転車対策事業 <三鷹駅> 二調事業	平成12年度は、三鷹駅北口周辺の放置自転車台数を200台にします。 三鷹駅周辺の放置自転車等の台数 (台) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>4,879</td> <td>4,989</td> <td>4,989</td> <td>5,036</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>5,030</td> <td>5,073</td> <td>5,239</td> <td>5,586</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放置自転車台数</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>127</td> <td>221</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> 達成状況 自転車利用者の増加に伴い、駐輪可能台数の割増しを行いました。目標達成率は9割にとどまりました。 交通対策課資料		区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	4,879	4,989	4,989	5,036	停留台数	5,030	5,073	5,239	5,586	放置自転車台数	目標値	-	-	200	実績	127	221	210														
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																																				
収容可能台数	4,879	4,989	4,989	5,036																																				
停留台数	5,030	5,073	5,239	5,586																																				
放置自転車台数	目標値	-	-	200																																				
	実績	127	221	210																																				
自転車対策事業 <武蔵境駅> 二調事業	平成12年度は、武蔵境駅周辺の放置自転車台数を300台にします。 武蔵境駅周辺の放置自転車等の台数 (台) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収容可能台数</td> <td>7,037</td> <td>6,932</td> <td>8,524</td> <td>8,524</td> </tr> <tr> <td>停留台数</td> <td>6,930</td> <td>6,814</td> <td>7,099</td> <td>7,309</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放置自転車台数</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>272</td> <td>549</td> <td>308</td> </tr> </tbody> </table> 達成状況 自転車利用者の増加に伴い、目標達成率は7割程度にとどまりました。 交通対策課資料		区分	9年度	10年度	11年度	12年度	収容可能台数	7,037	6,932	8,524	8,524	停留台数	6,930	6,814	7,099	7,309	放置自転車台数	目標値	-	-	300	実績	272	549	308														
区分	9年度	10年度	11年度	12年度																																				
収容可能台数	7,037	6,932	8,524	8,524																																				
停留台数	6,930	6,814	7,099	7,309																																				
放置自転車台数	目標値	-	-	300																																				
	実績	272	549	308																																				
快適な利用環境の検討 二調事業	平成12年度は、前年度を5%下回る発生件数を目標値にします。 市内自転車の事故の推移 (人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">9年度</th> <th rowspan="2">10年度</th> <th rowspan="2">11年度</th> <th colspan="2">12年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発生件数</td> <td>180</td> <td>166</td> <td>268</td> <td>254</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>死亡</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>重傷</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>軽傷</td> <td>168</td> <td>160</td> <td>267</td> <td>-</td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>死傷者計</td> <td>181</td> <td>167</td> <td>271</td> <td>-</td> <td>385</td> </tr> </tbody> </table> 達成状況 死亡・重傷者数は増加していないものの、発生件数が大幅に増加しています。事故予防策の検証が必要です。 武蔵野警察署資料		区分	9年度	10年度	11年度	12年度		目標値	実績	発生件数	180	166	268	254	433	死亡	1	1	2	-	1	重傷	12	6	2	-	2	軽傷	168	160	267	-	382	死傷者計	181	167	271	-	385
区分	9年度	10年度					11年度	12年度																																
			目標値	実績																																				
発生件数	180	166	268	254	433																																			
死亡	1	1	2	-	1																																			
重傷	12	6	2	-	2																																			
軽傷	168	160	267	-	382																																			
死傷者計	181	167	271	-	385																																			

事業	達成状況を表わす代表的な指標とその実績																					
エレベーター・エスカレーターの駅への設置。 二調事業	<p>平成12年度は、吉祥寺駅南口京王線出口にエスカレーターを2基設置します。</p> <p>達成状況 平成12年度は、京王井の頭線吉祥寺駅の南口階段及び改札口付近に、車椅子対応型エスカレーターを2基設置し、目標値を達成しました。今後は、下りエスカレーター及びエレベーターの早急な設置に向け、検討を行います。 さらに、交通バリアフリー法に拠って駅周辺を重点整備地区に指定し整備を行うことについて検討を行っていきます。なお、現在は重点整備地区については未設定です。</p>																					
道路の段差解消	<p>平成12年度は、延べ30箇所の段差解消を行います。 今後、緊急改善地箇所総数326箇所を、平成14年度までに実施します。</p> <p style="text-align: center;">道路の段差解消 年度別実施延長(市内全体年間)</p> <p style="text-align: right;">(箇所)</p> <table border="1" data-bbox="424 947 1476 1090"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>9年度</th> <th>10年度</th> <th>11年度</th> <th>12年度</th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>130</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>80</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>134</td> <td>34</td> <td>10</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">道路整備課資料</p> <p>達成状況 平成12年度計画に対する目標値は達成できませんでしたが、今後とも、計画的に道路の段差解消事業を推進していきます。</p>	区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	目標値	130	30	30	30	80	26	実績	134	34	10	6		
区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度																
目標値	130	30	30	30	80	26																
実績	134	34	10	6																		

平成12年度個別事務事業評価シート

1. 個別事務事業の内容

事務事業名	ムーバス運行事業	主管課	
目的	市内の交通空白地域や交通不便地域にコミュニティバスを運行し、高齢者や障害者など市民が気軽に安全に外出できるようにします。		
内容	吉祥寺圏の東部と北西部の交通空白不便地帯に、吉祥寺駅を起点とするコミュニティ循環バスを運行します。また、武蔵境圏の南部の交通空白不便地帯に、武蔵境駅を起点とするコミュニティバスの運行を開始します。		

2. インプット指標及びアウトプット指標

(単位:円)

区 分			10年度	11年度	12年度	13年度
			決算	決算	決算	予算
イニシャルコスト	支出	バス停設置、車両購入費など	17,010,000	1,340,325	64,487,850	17,183,000
	収入	国庫補助金、都補助金	3,955,750	0	31,858,720	19,927,000
インプット指標	支出	事業費	13,614,611	13,878,459	23,592,380	35,644,000
		人件費	1,302,150	1,305,600	4,313,000	4,318,000
		(職員業務量)	0.15	0.15	0.50	0.50
		車両減価償却費	8,359,200	8,359,200	12,498,300	13,924,842
	支出計(A)		23,275,961	23,543,259	40,403,680	53,886,842
	収入	バス会社からの寄付金	4,323,751	4,554,525	6,922,413	0
		収入計(B)	4,323,751	4,554,525	6,922,413	0
差引(C) = (A) - (B)		18,952,210	18,988,734	33,481,267	53,886,842	
アウトプット指標(D)		利用者数	903,879	1,037,351	1,205,335	1,500,000
単 価	総支出単価(A)/(D)	利用者一人当たりの総コスト	25.8	22.7	33.5	35.9
	純支出単価(C)/(D)	利用者一人当たりの純コスト	21.0	18.3	27.8	35.9
業績測定に対するコメント		境南地区の3号路線は平成12年度(平成12年11月26日)に運行を開始しました。平成12・13年度は新路線開設準備のため、職員業務量が増加しています。また、13年度は、3号路線への運行補助金(1,900万円)を計上する一方、バス会社からの収入を見込んでいないため、予算額及び単価が増加しています。				

(参考:バス運行会社の業績)

区 分		10年度	11年度	12年度
		決算	決算	決算
収入	運行収入等(A)	89,588,225	102,759,550	118,916,461
支出	運行経費(B)	80,940,723	93,650,499	108,582,142
差引(C) = (A) - (B)		8,647,502	9,109,051	10,334,319
市への寄付金	会社別利益の50%相当	4,323,751	4,554,525	6,922,413

3. アウトカム指標

指標名		指標の説明	区分	10年度	11年度	12年度	13年度
ムーバス利用者数		1年間の利用者数で、ムーバスの定着度がわかります	目標値	-	-	1,200,000	1,500,000
			実績	903,879	1,037,351	1,205,335	-
1 便 平 均 利 用 者 数	吉祥寺東循環 (1号路線)	1台当りの定員(28人)に対する利用(混雑)度がわかります	目標値	-	-	26.0	26.0
			実績	26.4	26.0	26.1	-
	吉祥寺北西循環 (2号路線)	同上	目標値	-	-	30.0	30.0
			実績	30.1	30.3	32.9	-
	境南循環 (3号路線)	同上	目標値	-	-	10.0	12.0
			実績	-	-	10.9	-

4. 評価

区分		一次評価	二次評価
項目別評価	達成度	1・2・3号路線の利用者はそれぞれ順調で、十分目標を達成しました。	平成12年度においては、1年間で120万人(1台当たり25.6人)の利用者がありました。全体の利用者数の目標は十分に達成したといえます。今後は路線別の計画と管理が重要になってきます。
	効率性	運行委託会社の企業努力と利用者の増加により運行収支が黒字になったため、効率性が高まりました。	事業の総コストは年間3,600万円(平成12年度)で、利用者1人当たり純コストは26円です。その経済効果は1億1,900万円になり、事業の効果は大きい。今後は新路線の効率性に留意する必要があります。
	必要性	高齢者や幼児連れの人が抵抗なく利用できる公共交通手段であり、移動手段を持たない市民のニーズに応えた事業といえます。	3号路線の開業で、地域住民の生活の改善に大きく寄与すると期待されます。残された地域の対策を早急に行う必要があります。
	公平性	各路線のフォローアップ調査によれば、料金は適切であると評価されています。ただ、交通空白地域があるなど、地域間のサービス格差については検討が必要です。	利用者負担の妥当性(80%)から、利用できる人とできない人との間には、大きな不公平性はないといえます。利用者負担額(100円)も効率的な運営の結果妥当な水準にあるといえます。
総合評価		高齢者の外出の増加という当初の目的を果たし、一定の事業採算性の目途がついたといえます。3号路線の開業により、境南地区にあった交通空白地域は解消されました。今後は中央地区に残されている交通空白地帯を解消するため、新ルートの運行を検討します。	行政と民間のパートナーシップにより効率的かつ効果的な事業が実施されています。今後も路線拡大や時間延長により、利用者満足の向上に努めることが必要ですが、路線毎の効率性にも留意すると同時に、歩行者の安全性の確保にも努めなければなりません。

5. 見直し方針

- (1) まだ、中央地区に残されている交通空白地域解消のために、平成13年度に新路線の検討を行い、早期の開業を目指します。
- (2) 既存のルートのうち、特に2号路線については、時間延長や増便など、混雑度の解消や利用者満足を向上させる方策を検討します。
- (3) 既存のルートにおいては、安全性の確保のための点検・改善を行います。